

2020年度第1回白井市との連絡調整会議・議事録

第1回白井市との連絡調整会議を下記のとおり開催し、議事等に係る質疑等は以下のとおりでした。

なお、開催に当たり、野水代表理事及び金井産業振興課長のあいさつがあり、その後の出席者の紹介は、添付の名簿の通りとした。

記

- 1 名称 2020年度第1回白井市との連絡調整会議
- 2 開催日 2020年11月19日(木) 11:00～
- 3 場所 白井市公民センター・2Fレクホール
- 4 出席者
当協議会 野水代表理事、尾籠副代表理事、藤本副代表理事、栗原監事、人見理事
堀田理事、木村理事、松下理事、佐野理事、伊藤理事、遠藤理事
阿部理事、山口理事、佐藤理事、桜井理事
竹野幹事(第1B)、森川幹事(第2B)、染谷事務局長、梅本事務局員
白井市 産業振興課：金井課長、山口副主幹、綿崎主任主事
都市計画課：吉川副主幹、黒澤主査、樋野主任主事
市民活動支援課：松岡課長、二瓶主査、金井主査補
道路課：小島副主幹、五百井主任技師、 上下水道課：板倉副主幹
環境課：長谷川主査

5 議事

今回は、当協議会主催であるため、議長は、野水代表理事が務めた。

要望に対する回答の説明は、各担当課職員から回答書の通り行われ、その後の質疑にあつては、当協議会の各理事等からの質問に対し、それぞれの所管の担当課職員から回答がなされた。

(1) 要望書に対する回答及び取り組み事項について

《主な質疑等》

①道路関係

- ・工業団地アクセス道路の今後の整備状況について
⇒地盤改良等に関しては、すでに整備計画が定まっている。また、未相続個所の取り扱いについては、現在作業を進めているが、速やかな買収等ができないときには、当該箇所を除いての暫定整備を検討する。
- ・工業団地アクセス道路の整備が遅れている状況において、工業団地内には物流企業の進出もあり、富塚交差点の右折車線の整備が先ではないのか。
⇒基本的には、工業団地アクセス道路の整備を優先して進める。交差点改良には、国道16号の手前側だけでなく、対面側も同様に拡幅整備をしなければならないので、住宅の移転などが必要となり時間と経費が掛かる。
- ・道路の外側線、センターラインなどが消えていて、危険な状況である。なぜ、このような状態になるまで整備しないのか。
⇒すでに協議会からの整備要望をいただいているので、可能な限り今年度中に整備をしたい。
また、横断歩道や停止線などの整備については、11月4日付けで印西警察署に要望書を提出している。

- ・桜台地区からの構想道路の市としての位置付けは。
⇒市の活性化にとって重要なものとしている。道路沿線の土地利用については、今年度アンケートを実施し、利活用について検討していく。

②上水道関係

- ・上水道の整備について
⇒水道料金については、15%の値上げをしたものの財務的には厳しい状況となっているが、市からの助成等についても含め、工業団地への整備を検討したい。

③交通関係

- ・大型車の通行規制解除について、会社の死活問題となっており、積極的に取り組んでほしい。
⇒地域の方々の意見や道路整備状況などを考慮しながら解除に向けて努力する。また、工業団地内に限った部分解除についても調整したい。
- ・交差点の歩行者の安全確保のための安全ポール（セーフティポール）の設置をしていただきたい。
⇒ポールを設置することで大型車の通行に支障が出ることもあるため、設置場所等を見極めながら設置を検討する。
- ・信号機の設置について、市内で何か所要望しているのか。
⇒8か所です。

④防犯関係

- ・今年度の設置要望件数は。
⇒104か所の要望があり、現地調査等をして、予算の範囲内で来年1から2月を目途に設置をする。
- ・今後のLED化と防犯灯の設置要望の仕方は、どうなるのか。
⇒2021年4月からLED化を進める。所管は、道路課となり、防犯灯の設置要望は、従来通りとなる。

(2) 今後の白井工業団地の活性化及び産業振興に係る施策について

- 金井産業課長から以下の通り、説明がある。
- ・工業団地アクセス道路の整備と工業団地の操業環境整備を進める。
- ・工業専用地域振興事業として、本年4月に用途地域（工業地域）を変更したことから、今後、振興計画を策定する。
- ・桜台地区から工業団地を經由して西白井地区に至る構想道路の整備を進める。また、周辺の面的整備を検討する。

(3) その他

- ・金井産業課長から
関係機関の要望について、市と協議会が別々に行っているが、今後、共同して行うようにしてはどうかとの提案がある。
- ・松岡市民活動支援課長から
まちづくりについては、行政、市民、企業がそれぞれ連携することで進めていきたい。
市民活動の活性化やコミュニティづくりに企業も参加をしていただきたい。
- ・野水代表理事から
地域に根差した工業団地づくりを進めていきたい。

以上